

岩見沢市の行政評価について

令和6年度行政評価（施策評価）の最終評価結果

行政評価の目的

岩見沢市では、行政サービスに対する市民の満足度を高め、将来を見据えたまちづくりを進めるため、「第6期岩見沢市総合計画」に掲げている施策・事業の進捗状況を把握し、適切な進行管理を行うことを目的として、「行政評価」を実施しています。

1 成果重視の行政運営への転換

市民の視点に立ち、成果を重視した評価を行うことにより、限られた予算や人員を最大限発揮した市民満足度の高い行政運営を実現します

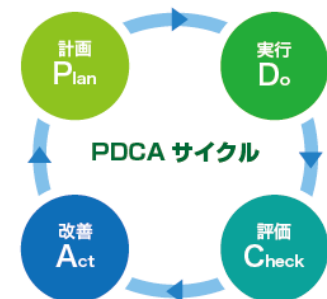
2 市民に対する説明責任

評価の結果や課題の公表を通じ、透明性の高い行政運営を実現するとともに、情報共有を通じた協働のまちづくりを推進します

3 職員の意識改革の推進と政策形成能力の向上

評価を行う過程において職員の成果やコストに対する意識を醸成するとともに、課題の把握やその対応を通じ、政策形成能力の向上を図ります

PDCAサイクルによる
政策・施策・事務事業の見直し・改善



行政評価の対象施策

第6期岩見沢市総合計画における基本計画の施策体系に基づく「全32施策」を行政評価の対象としています。

基本構想

人と緑とまちがつながり ともに育み未来をつくる 健康経営都市

市民主体による
協働のまちづくり

地域特性を活かした
魅力あふれるまちづくり

次世代につなげる
持続可能なまちづくり

基本目標1
地域で支え合う
安全・安心なまち

基本目標2
みんなが健康で
元気に暮らせるまち

基本目標3
活力と賑わいに満ち
た魅力あふれるまち

基本目標4
豊かな心と生きる
力をはぐむまち

基本目標5
自然と調和した快適
で暮らしやすいまち

基本目標6
市民とともに創る持続
可能で自立したまち

基本計画

- 1 地域防災力の向上
- 2 総合的な雪対策の推進
- 3 消防・救急体制の充実
- 4 安全・安心な生活環境の確保
- 5 地域コミュニティの活性化
- 6 男女共同参画の実現

- 1 健康づくりの推進
- 2 高齢者福祉の充実
- 3 障がい者福祉の充実
- 4 地域福祉の推進
- 5 社会保障制度の適正な運営
- 6 地域医療体制の充実

- 1 農林業の振興
- 2 商工業の振興と中心市街地の活性化
- 3 新産業の創出と企業立地の推進
- 4 雇用の拡大と就業環境の充実
- 5 地域資源を活かした観光の振興
- 6 移住・定住の促進
- 7 国際・地域間交流の推進

- 1 子ども・子育て支援の充実
- 2 学校教育の充実
- 3 生涯学習の振興と社会教育の充実
- 4 芸術文化・スポーツの振興

- 1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成
- 2 快適な道路環境の確保
- 3 公共交通の利便性の向上
- 4 上下水道の適正な運営
- 5 緑豊かなまちづくりの推進
- 6 環境の保全と循環型社会の形成
- 7 地域情報化の推進

- 1 開かれた市政の推進
- 2 持続可能な行財政基盤の確立

行政評価の対象 全32施策

評価のプロセス

施策の評価は、市役所内部での評価ののち、有識者による外部評価とパブリックコメントを経て最終評価を決定し、施策評価シートとともに結果を公表しています。

1 内部評価（一次・二次）

各施策の担当課において、前年度の事業実績等を把握したうえで、定量的・定性的な視点で「施策評価シート」の作成・評価を行います。【一次評価】

企画室において、「施策評価シート」の記載内容に漏れや不足がないか、事業実績の増減理由だけではなく、定性的な視点から事業の進捗状況が評価・分析されているかを点検し、必要に応じて評価の調整や補正を実施します。【二次評価】

2 外部評価（市政改革懇話会・パブリックコメント）

内部評価（一次・二次）を終えた「施策評価シート」に基づき、有識者で構成される市政改革懇話会による評価を行います。対象となる施策は多岐にわたるため、毎年、6～10施策程度を抽出し評価を実施します。令和6年度は、8施策について外部評価を実施しました。

また、内部評価を終えた「施策評価シート」を市ホームページで公表し、各施策に対する課題や今後の方向性についての意見を聴取したうえで、主な意見を反映します。

内部評価および外部評価を経て、行政改革推進本部会議（市役所内部）で最終評価を決定

【コラム】 定量的な評価と定性的な評価

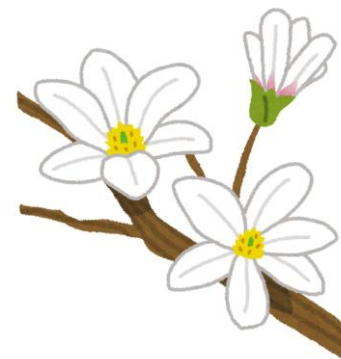
「定量的な評価」とは、様々な施策を指標や数値に着目して評価することです。

例えば、「〇〇セミナーの参加者数」や、「アンケートでの満足度」といったものが挙げられます。具体的な目標を数値で表すことで、成果が客観的に把握できて分かりやすいといったメリットがある一方で、数値を把握するための費用がかかったり、調査の負担が増えるといったデメリットもあります。

一方、「定性的な評価」とは、物事の「質」の部分に着目して評価することで、「取組みに対する意識、姿勢、工夫」といったものが挙げられます。数値だけでは捉えきれない要素を汲み取ることで総合的な評価をすることができる反面、評価の基準が曖昧になったり、評価する人によって、結果が異なったりすることもあります。

岩見沢市の行政評価では、「定量的な評価」をベースに、「定性的な視点」でも評価の調整や補正を行い、調整等の内容については、外部評価委員会やパブリックコメントで多くの方に意見をもらうことで、偏った評価にならないよう努めています。

「定量的な評価」と「定性的な評価」を組み合わせることで、それぞれの評価方法の良いところを活かし、適切な評価をしていくことが施策の見直しや改善を行っていくうえで大切なことなのです。



評価の基準について

岩見沢市の行政評価では、「成果指標」と「施策の進捗状況」をクロスさせた総合的な評価を行っています。

【成果指標に対する評価】 ※A～4点 B～3点 C～2点 D～1

評価の視点	評価
ア 現状値及び昨年度値ともに向上／現状値より低下したが昨年度値より向上	A
イ 現状値及び昨年度値とほぼ同数	B
ウ 現状値より向上したが、昨年度値より低下若しくは昨年度値とほぼ同数	C
エ 現状値及び昨年度値ともに低下	D

※4段階で評価（平均点） A:2.6点以上、B:2.0点～、C:1.3点～、D:1.3未満

【進捗状況に対する評価】 ※A～4点 B～3点 C～2点 D～1点

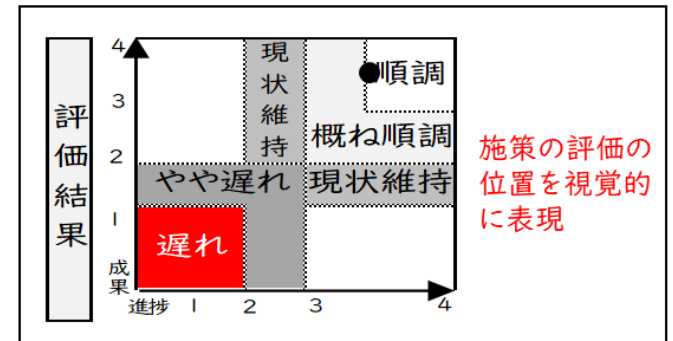
評価項目	評価の視点	評価	評価基準
達成度	- 成果指標は向上（維持）、改善しているか - 目標の達成に向けた事務事業の展開に努力したか - 市民や社会のニーズを的確に捉えているか	A	十分である
		B	概ね十分である
		C	やや不十分である
		D	不十分である
有効性	- 成果指標の向上（維持）、改善に有効な内容か - 事業実績は、成果指標の向上（維持）、改善に寄与する内容だったか - 事務事業の目的の達成のための手段は適切か	A	非常に有効
		B	有効
		C	やや有効でない
		D	有効でない
効率性	- 成果を下げず、コスト削減できる余地はないか - 適正な受益者負担を求めているか - 実施体制に改善の余地はないか	A	改善の余地なし
		B	概ね効率がよい
		C	改善の余地あり
		D	大きく改善の余地あり

※施策に属する重点事業を4段階で評価（平均点） A:3.6点以上、B:3.0点～、C:2.0点～、D:2.0点未満

評価結果（成果と進捗のクロス評価）

評価基準	評価
成果指標・進捗状況ともにA	順調
成果指標はA、進捗状況はB 成果指標はB、進捗状況はA 成果指標・進捗状況ともにB	概ね順調
成果指標はB、進捗状況はC 成果指標はC、進捗状況はB	現状維持
成果指標はC、進捗状況はD 成果指標はD、進捗状況はC 成果指標・進捗状況ともにC	やや遅れている
成果指標・進捗状況ともにD	遅れている

成果と進捗の評価をクロスさせた総合評価



令和6年度行政評価の最終評価について

令和6年度の行政評価（令和5年度事業）の最終評価は次のとおりです。

「順調」：6施策（18.8%）、「概ね順調」：21施策（65.6%）、「現状維持」：5施策（15.6%）

基本目標／基本施策		R5 最終評価	R6 最終評価	R3市民意識調査結果 (順位)		
1地域で支え合う安全・安心なまち				満足度	重要度	改善度
1	地域防災力の向上	概ね順調	概ね順調	18位	17位	18位
2	総合的な雪対策の推進	概ね順調	概ね順調	4位	28位	30位
3	消防・救急体制の充実	順調	順調	1位	31位	32位
4	安全・安心な生活環境の確保	概ね順調	現状維持	5位	14位	27位
5	地域コミュニティの活性化	概ね順調	概ね順調	12位	22位	23位
6	男女共同参画社会の実現	順調	概ね順調	22位	24位	16位
2みんなが健康で元気に暮らせるまち						
1	健康づくりの推進	概ね順調	概ね順調	2位	29位	31位
2	高齢者福祉の充実	順調	概ね順調	7位	21位	25位
3	障がい者福祉の充実	概ね順調	順調	14位	22位	21位
4	地域福祉の推進	現状維持	概ね順調	20位	10位	12位
5	社会保障制度の適正な運営	概ね順調	概ね順調	15位	6位	11位
6	地域医療体制の充実	順調	順調	9位	8位	19位
3活力と賑わいに満ちた魅力あふれるまち						
1	農林業の振興	概ね順調	概ね順調	21位	30位	24位
2	商工業の振興と中心市街地の活性化	概ね順調	概ね順調	28位	20位	10位
3	新産業の創出と企業立地の推進	順調	概ね順調	32位	19位	7位
4	雇用の拡大と就業環境の充実	現状維持	現状維持	31位	15位	5位
5	地域資源を活かした観光の振興	順調	現状維持	27位	25位	15位
6	移住・定住の促進	概ね順調	概ね順調	30位	16位	8位
7	国際・地域間交流の推進	概ね順調	概ね順調	29位	32位	22位
4豊かな心と生きる力をはぐくむまち						
1	子ども・子育て支援の充実	順調	順調	13位	17位	20位
2	学校教育の充実	現状維持	現状維持	10位	9位	17位
3	生涯学習の振興と社会教育の充実	現状維持	概ね順調	17位	10位	13位
4	芸術文化・スポーツの振興	概ね順調	概ね順調	8位	25位	26位
5自然と調和した快適で暮らしやすいまち						
1	魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成	順調	概ね順調	25位	2位	2位
2	快適な道路環境の確保	概ね順調	概ね順調	10位	6位	14位
3	公共交通の利便性の向上	現状維持	現状維持	23位	12位	9位
4	上下水道の適正な運営	概ね順調	概ね順調	6位	27位	29位
5	緑豊かなまちづくりの推進	順調	順調	3位	13位	28位
6	環境の保全と循環型社会の形成	概ね順調	概ね順調	16位	5位	6位
7	地域情報化の推進	概ね順調	順調	23位	4位	3位
6市民とともに創る持続可能で自立したまち						
1	開かれた市政の推進	概ね順調	概ね順調	19位	3位	4位
2	持続可能な行政基盤の確立	概ね順調	概ね順調	25位	1位	1位

● :R6外部評価対象施策 ■ :評価アップ(対前年度) ■ :評価ダウン(対前年度)

評価結果の内訳

評価結果	R5最終評価	R6最終評価	割合
順調	9	6	18.8%
概ね順調	18	21	65.6%
現状維持	5	5	15.6%
やや遅れている	0	0	0%
遅れている	0	0	0%

評価アップ(4施策)

2-3 障がい者福祉の充実
2-4 地域福祉の推進
3-3 生涯学習の振興と社会教育の充実
5-7 地域情報化の推進

主な要因

事業実績の改善、施設利用の増、DXの推進による増

評価ダウン(6施策)

1-4 安全・安心な生活環境の確保
1-6 男女共同参画社会の実現
2-2 高齢者福祉の充実
3-3 新産業の創出と企業立地の推進
3-5 地域資源を活かした観光の振興
5-1 魅力ある都市空間と快適な居住環境の形成

主な要因

人口減少・高齢化に伴う地域活動の担い手不足、高齢化に伴う社会保障費の増大、アフターコロナにおける生活様式の変化等

【補足】新型コロナウイルスの影響と定性的な視点による評価の補正について

1 新型コロナウイルスの成果指標への影響について

令和5年度は、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、前年度と比較すると、数値が上昇している成果指標が多くなっています。（例：観光入込客数や施設の利用者数など）

評価基準では、本来「A評価」となるところですが、5類移行前と後では指標を単純に比較できないため、コロナ前の水準まで回復していないものについては、「B評価」として特例的に評価を据え置いています。

※該当する指標については、施策評価シートの中で「★」マークを付けています。

2 定性的な視点による評価の補正

令和6年度の行政評価においては、成果指標（数値）による定量的な評価に加えて、定性的な視点で評価の補正を行い、外部評価での意見を勘案して各施策の成果を総合的に捉えた評価を行いました。

施策	補正内容
2-2 高齢者福祉の充実	介護サービス利用者負担軽減事業の実施状況等を踏まえ、達成度の評価をA→Bに補正
2-4 地域福祉の推進	民生委員・児童委員の充足率は全国的にも低下傾向にありますが、各地区の民生委員・児童委員の活動状況等を踏まえ、達成度および効率性の評価をC→Bに補正
3-5 地域資源を活かした観光の振興	ふるさと毛陽地域振興事業において、経営改善の取り組みが行われている状況を踏まえ、効率性の評価をC→Bに補正